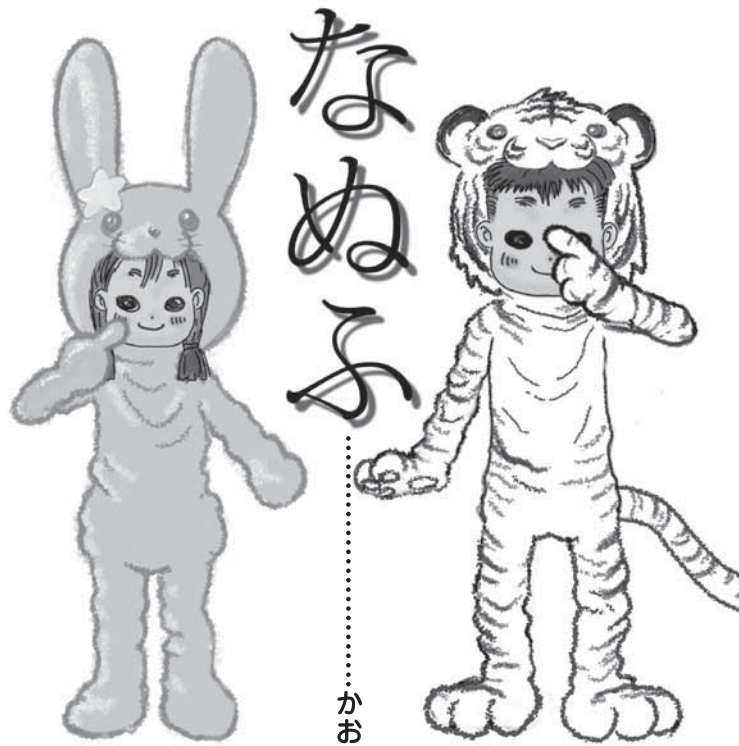


# ちとせの アイヌゴ



# はじめに

イランカラパター、アイです。ヌイです。タクです。



アイ：タク君、この本で一緒にアイヌ語を勉強しようね。

タク：勉強？ ぼく勉強は苦手だなあ。

ヌイ：でもタク君、アイヌ語に興味があるんでしょう？

タク：うん、どんな言葉なのか、ちょっとだけ知りたいなあと思って。  
アイちゃんは？

アイ：私は、アイヌ語を話せるのってカッコイイかなって思うのと、アイヌ語で日記とか書いてみたい。「今日の晩ごはんはとってもおいしかったです。だけど、お手伝いをしなかったので、お母さんにしかられました、マル」とかね。

タク：へえ～。この本で勉強したら、アイヌ語で日記が書けるようになるの？

アイ：ううん、そうじゃないの。この本は、タク君みたいにちょっとだけ知りたい人向き。だから、あんまりむずかしい説明はなくて、アイヌ語をそのまま覚えて口に出してみましよう、ということをめざしているみたい。私は、この本が終わったら、次は『初級編』、『中級編』に進んでいくつもり。

タク：それならば僕は、『初級編』までいくかどうか自信がないけど、まずはこの本を見てみることにするよ。でも、他にもやりたいことがいろいろあるし、きっと1カ月に何回かしか使わないよ。

ヌイ：そのくらいでもいいんじゃない？この本は、最初から読んでいて、だんだんむずかしくなるっていうんじゃないくて、どこから読みはじめてもいいみたい。歌ものってるし。

タク：他のところは飛ばして、歌のところだけ見ようかな？

アイ：私は春から使い始めてほしい1カ月にひとつずつ読もうと思ってるの。今年のクリスマスには「ジングルベル」をアイヌ語で歌うつもり。一緒に歌う？

タク：じゃあ僕もアイちゃんと一緒にこれで勉強しようっと。  
来年は、アイヌ語でアニメソングを歌いたいな。

- \*この本は、「声を出してアイヌ語を話してみる」ことを主たる目的にしています。
- \*そのため、アイヌ語の表記のしかたについては説明していません。
- \*表記に関するルールは、『初級編』で詳しく学びます。基本的な考え方は、『アコロイタク』(北海道ウタリ協会 1994年)に準じています。

【執筆・編集担当(五十音順)】

北原次郎太、楠本克子、高橋規、高橋靖以、八谷麻衣

【音声収録(五十音順)】

小笠原小夜、加納ルミ子、川村このみ、木村君由美、豊川容子、八谷麻衣、村上恵、山本りえ

# もく 目

# じ 次

4月	<sup>がつ</sup> みんなで <sup>あそ</sup> 遊ぼう	8
5月	<sup>がつ</sup> たの <sup>さんさい</sup> 楽しい山菜とり	10
	♪うたってみよう(1)～ <sup>もり</sup> 森のくまさん～♪	12
6月	<sup>がつ</sup> はし <sup>はや</sup> 走るのが速いね	14
7月	<sup>がつ</sup> うみ <sup>い</sup> 海へ行こうよ	16
	♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪	18
8月	<sup>がつ</sup> せんぞ <sup>たいせつ</sup> 先祖を大切に	20
9月	<sup>がつ</sup> おいしいものがいっぱい	22
	♪うたってみよう(3)～ <sup>ふるどけい</sup> おおきな古時計～♪	24

10月	<sup>がつ</sup> <sup>ふゆ</sup> <sup>く</sup> <sup>まえ</sup> 冬が来る前に	26
11月	<sup>がつ</sup> <sup>はり</sup> <sup>いと</sup> 針と糸をもって	28
	♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜 <sup>よる</sup> ～♪	30
12月	<sup>がつ</sup> <sup>きょう</sup> <sup>さむ</sup> 今日も寒いねえ	32
1月	<sup>がつ</sup> <sup>まつ</sup> <sup>じゅん</sup> <sup>び</sup> お祭りの準備	34
	♪うたってみよう(5)～からだのうた (しずかなこはん)～♪	36
2月	<sup>がつ</sup> <sup>かん</sup> <sup>しゃ</sup> カムイに感謝をする	38
3月	<sup>がつ</sup> <sup>こ</sup> <sup>さず</sup> 子グマを授かる	40

## アイヌ語(北海道方言)の音節(カタカナ表記)

### 【母音】

ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---

### 【子音+母音】

カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		トウ	テ	ト
チャ	チ	チュ	チエ	チヨ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユル	イエ	ヨ
ラ	リ		レ	ロ
ワ	ウイ		UE	ウオ

### 【母音+子音】

アク	イク	ウク	エク	オク
アシ	イシ	ウシ	エシ	オシ
アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
アン	イン	ウン	エン	オン
アプ	イプ	ウプ	エプ	オプ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ	イリ	ウル	エレ	オロ
アウ	イウ		エウ	オウ

### 【子音(例としてカ行の音)+母音+子音】

カク	キク	クク	ケク	コク
カシ	キシ	クシ	ケシ	コシ
カッ	キッ	クッ	ケッ	コッ
カン	キン	クン	ケン	コン
カプ	キプ	クプ	ケプ	コプ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ	キリ	クル	ケレ	コロ
カウ	キウ		ケウ	コウ

## アイヌ語(北海道方言)の音節(ローマ字表記)

### 【母音】

a	i	u	e	o
---	---	---	---	---

### 【子音+母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa	wi	wu	we	wo

### 【母音+子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

### 【子音(例としてK)+母音+子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

がつ 4月 みんなで遊ぼう

フクジュソウの花の咲く春は、新しい仲間や友達に出会うことが多い季節です。  
みんなでアイヌ語を勉強しましょう。

イランカラテ。フナエトゥラワエエクヤ?

irankarapte. hunna e=tura wa e=ek ya?

「こんにちは。誰と来たの?」

クコットットクトウラワケク。

ku=kor tutto ku=tura wa k=ek.

「お母さんと一緒に来たんだ」

アイヌイタクアエイワンケロ。

aynuitak a=eywanke ro.

「アイヌ語を使おう」

ウトウラノシノッチャキアンロ。

uturano sinotcaki=an ro.

「みんなで一緒に歌おう」

クナウヘチラサワン。

kunaw hecirasa wa an.

「フクジュソウが咲いている」





## 【覚えよう～季節をあらわす言葉～】

パイカラ	paykar	「春」
サク	sak	「夏」
チュク	cuk	「秋」
マタ	mata	「冬」



### れんしゅう ○練習○

クコツ トット クトゥラ ワ ケク。

ku=kor totto ku=tura wa k=ek.

私のお母さん 私 一緒になって 私 来た  
「お母さんと一緒に来たんだ」

「私のお母さん」の部分をおの人に替えて言ってみよう。

「私のお父さん」	クコロハポ	ku=kor hapo
「私のおじいちゃん」	クコロエカシ	ku=kor ekasi
「私のおばあちゃん」	クコロフチ	ku=kor huci

ウトウラノ シノツチャキアン ロ。

uturano sinotcaki=an ro.

一緒に 歌う 私達 しよう  
「みんなで一緒に歌おう」

「歌う」の部分をおの言葉に替えて「一緒に～しよう！」という文を作ってみよう。

「遊ぶ」	シノツ	sinot
「帰る」	ホシツパ	hosippa
「行く」	パイエ	paye
「食事する」	イペ	ipe
「勉強する」	ヤイバカシヌ	yaypakasnu



がつ たの さんさい  
5月 楽しい山菜とり

おそ ゆき おわ やまやま すこ みどり さんさい しよくたく  
遅い雪どけが終わった山々に少しずつ緑がめばえてくると、やがて山菜が食卓をにぎ  
わす季節になります。アイヌ語を声に出しながら自然の恵みをいただきますよ。

アハアタ ロ。

aha a=ta ro.

「ヤブマメを掘ろう！」

キナアカラアネクスパイエアン ロ。

kina a=kar an kusu paye=an ro.

「山菜を採りに行こう」

トアニウンエアラパヤクウェンナ。

toani un e=arpa yak wen na.

「そっちへ行くと危ないよ」

クシンキフミ。タネカヅカシエトランネ。

ku=sinki humi. tane k=apkas etoranne.

「疲れたなあ。もう歩きたくない」

トアンタマカヨエトウクワアンナ。

toan ta makayo etuk wa an na.

「あそこにフキノトウが生えているよ」



## 【覚えよう～春の山菜～】

オハウキナ ohawkina 「ニリンソウ」  
チマキナ cimakina 「ウド」  
ペペロ pepero 「アズキナ」  
コロコニ korkoni 「フキ」



### れんしゅう ○練習○

(タネ) カフカシ エトランネ。

(tane) k=apkas etoranne.

(もう) 私 歩く したくない

「(もう) 私は歩きたくない」

「私が歩く」の部分<sup>①</sup>を他の言葉に替えて「～したくない」という文を作ってみよう。

「私が仕事する」 クモンライケ ku=monrayke

「私が手伝いする」 クイカスイ ku=ikasuy

「私が走る」 クホユブ ku=hoyupu

トアン タ マカヨ エトゥク ワ アン ナ。

toan ta makayo etuk wa an na.

あそこに フキノトウ はえ て いる よ

「あそこにフキノトウが生えているよ」

「フキノトウ」の部分<sup>②</sup>を他の植物に替えて言ってみよう。



♪うたってみよう(1)～<sup>もり</sup>森のくまさん～♪

シネアントタ ニタイ トウムタ キムンカムイ クヌカラ  
sine an to ta nitay tum ta kimunkamuy ku=nukar  
あるひ もりのなか くまさんに であった

ルサムタ ノンノ ヘチラシパ キムンカムイ クヌカラ  
ru sam ta nonno heciraspa kimunkamuy ku=nukar  
はなさくもりのみち くまさんにであった

キムンカムイ エネイタキ ポンメノコ ホクレ キラ  
kimunkamuy ene itak hi pon menoko hokure kira  
くまんさんは こういった おじょうさん さあにげて

すたこらさっさっさのさ すたこらさっさっさのさ

ネ コロカイ キムンカムイ エノシ ホユプワ エク  
ne korkay kimunkamuy en=os hoyupu wa ek  
ところが くまさんが あとから ついてくる

トコトコトコトコト トコトコトコトコト

ポンメノコ エネチウカ ネッカイ エハチレ  
pon menoko en=eciwka nepkay e=hacire  
おじょうさん おまちなさい なにかおとしたよ

レタラセイアネカラ ポンポン キサルンペ  
retar sey an=ekar pon pon kisarunpe  
しろいかいで つくった ちいさな イヤリング

キムンカムイ イヤイライケレ ウトゥラノ リムセアンノ  
kimunkamuy iyayraykere uturano rimse=an no  
くまさん ありがとう いっしょに おどりましょう

ララララララララ ララララララララ

- \* ♪ある～ひ、もりのなか～♪で始まる「森のくまさん」に、アイヌ語をつけてみました。
- \* アイヌ語の歌詞は、もとの歌詞の直訳ではありません。
- \* 歌詞に使われているアイヌ語は、浦河地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語訳：平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)

6月 走るのが速いね

うんどうかい  
運動会のシーズンです。かけっこ、たま<sup>い</sup>玉入れ、つな<sup>ひ</sup>引き。  
がんばっている友だちをおうえんしましょう。

エホユプシリトウナシシリ！

e=hoyupu siri tunas siri !

きみ<sup>は</sup>はし<sup>る</sup>のがはや<sup>い</sup>ね！

かごオシケタアンタマアピシキロ。

かご oske ta an tama a=piski ro.

なか<sup>の</sup>たま<sup>を</sup>かぞ<sup>え</sup>よう

ウコトウスクアキクスネナ、ウウエカラパヤン。

ukotusuk a=ki kusu ne na, uwekarpa yan.

ひ<sup>を</sup>あつ<sup>め</sup>るよ、集まれえ

アリキキ！アリキキ！

arikiki ! arikiki !

がんばれ！がんばれ！

ウウエサイネアンマホリッパアンロ。

uwesayne=an wa horippa=an ro.

わ<sup>が</sup>おど<sup>ろ</sup>う



## 【覚えよう～色の名前～】

レタラ retar 「白」  
 クンネ kunne 「黒」  
 フレ hure 「赤」

## れんしゅう ○練習○

20までの数字をアイヌ語で覚えよう。

1～10までの数をあらわす言葉は、次のとおりです。

	数	個数		数	個数
1	シネ (sine)	シネプ (sinep)	6	イワン (iwan)	イワンペ (iwanpe)
2	トゥ (tu)	トゥプ (tup)	7	アヲワン (arwan)	アヲワンペ (arwanpe)
3	レ (re)	ーブ (-p)	8	トゥペサン (tupesán)	ーペ (-pe)
4	イネ (ine)	ーブ (-p)	9	シネペサン (sinepesán)	ーペ (-pe)
5	アシクネ (asikne)	ーブ (-p)	10	ワン (wan)	ーペ (-pe)

11～19までは、上の表の1～10までの言葉と、イカシマ (ikasma) 「余る」という言葉とを組み合わせて、次のように言います。20はホツ (hot) と言います。

	数	個数	意味
11	シネ イカシマ ワン	シネプ イカシマ ワンペ	1 + 10
12	トゥ イカシマ ワン	トゥプ イカシマ ワンペ	2 + 10
13	レ イカシマ ワン	レブ イカシマ ワンペ	3 + 10
14	イネ イカシマ ワン	イネプ イカシマ ワンペ	4 + 10
15	アシクネ イカシマ ワン	アシクネプ イカシマ ワンペ	5 + 10
16	イワン イカシマ ワン	イワンペ イカシマ ワンペ	6 + 10
17	アヲワン イカシマ ワン	アヲワンペ イカシマ ワンペ	7 + 10
18	トゥペサン イカシマ ワン	トゥペサンペ イカシマ ワンペ	8 + 10
19	シネペサン イカシマ ワン	シネペサンペ イカシマ ワンペ	9 + 10
20	ホツ	ホツネプ	

☆目はいくつあるかな？ 手と足の指を合わせた数はいくつかな？ アイヌ語で言ってみよう！ 言えたら次は他の部分の数を言ってみよう！

☆おふろに入った時にアイヌ語で20まで数えてみよう！

## 7月 海へ行こうよ

かいすいよく かわあそ はまべ あそ ふね の  
海水浴に川遊び。浜辺で遊んだり舟に乗ったり。アイヌ語を声に出して言いながら、  
たの なつ すご  
楽しい夏を過ごしましょう。

タント シリセセク フミ。

tanto sirseseke humi.

きょう あつ  
「今日は暑いね」

アトウイ オルン サパン ママ アン ロ。

atuy or un sap=an wa ma=an ro.

うみ い およ  
「海に行って泳ごう」

ナム ワッカ ククル スイ ナ。

nam wakka ku=ku rusuy na.

つめ みず の  
「冷たい水が飲みたいよ」

オタ カ ペカ シリキ ヌイエ ワイン カラ。

ota ka peka sirki nuye wa inkar.

すなはま もよう えが  
「砂浜に模様を描いてごらん」

クチ ポルス イクス、アトウイ オルン エントウ ラ ヤン。

ku=cipo rusuy kusu, atuy or un en=tura yan.

ふね の うみ わたし つ  
「舟に乗りたいたから、海に私を連れていって」





## 【覚えよう～暑さ、寒さの言葉～】

シリセセク sirsesek 「暑い」  
シリメマン sirmeman 「すずしい」

### 〇<sup>れんしゅう</sup>練習〇

ナム ワッカ クク ルスイ ナ。

nam wakka ku=ku rusuy na.

冷たい水 私 飲む したい よ

「私は冷たい水を飲みたいよ」

「冷たい水」の部分好きな飲み物に替えて言ってみよう。

スイカ ケ ルスイ ナ。

スイカ k=e rusuy na.

スイカ 私 食べる したい よ

「私はスイカを食べたいよ」

「スイカ」の部分好きな食べ物に替えて言ってみよう。



## ♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪

シネトウレブ

sine turep

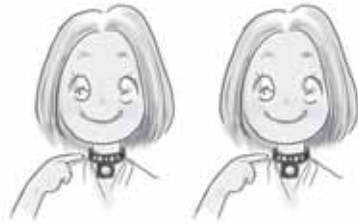
1つのウバユリ



トウレクトウンペ

tu rekutunpe

2つのくびかざり



レイナウル

re inawru

3つのけずりかけ

イネアッケテク

ine akketek

4つのほたて



アシクネイワニ

asikne iwani

5つのアオダモ

アイヌイタカニ

aynuitak ani

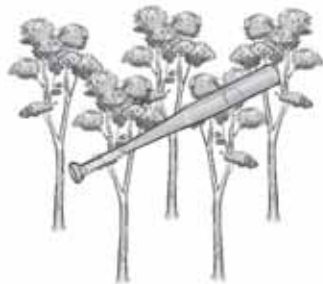
アイヌごで



イピシキキヤナニ

ipiski ki yan ani

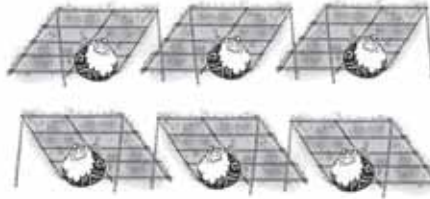
かずをかぞえてね



イワンアラカシ

iwana arkas

6つのかたごや



アラワントウペ

arwan tupep

7つのむすびめ



トゥペサンスネ

tupesana sune

8つのたいまつ



シネペサンワンパハカ

sinepesana wanpahka

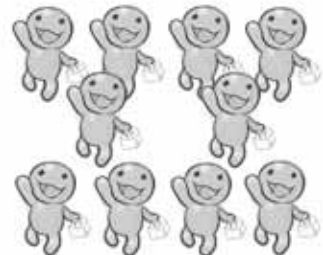
9つのでぶくろ



ワンシネウェクル

wana sinewekuru

10にんのおきゃくさん



アイヌイタカニ

aynuitakani

アイヌごで

シノッチャキアン ロケ

sinotchakian rok

みんなでうたってみよう

\* ♪ひ～とり、ふ～たり、さんにん いるよ、よ～にん、ご～にん、ろくにん いるよ♪で知られている 10人のインディアンが登場するかぞうたに、アイヌ語をつけてみました。

\* 歌詞に使われているアイヌ語は、美幌地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語詞：北原次郎太)

がつ せんぞ たいせつ  
8月 先祖を大切に

いの そな お祈りとお供えはいつしてもよいので、お盆ぼんにああ合わせて行おこなうこともよくあります。ご  
せんぞ ひと き 先祖のことをまわりの人に聞いてみましょう。

アコロシンリッ アエオリパク。

a=kor sinrit a=eoripak.

せんぞ たいせつ うやま  
「先祖を大切に敬う」

アコロエカシ オルン シヌラッパアン。

a=kor ekasi or un sinurappa=an.

ぼく せんぞ くよう  
「僕らのおじいさんに先祖供養をしよう」

アコロフチ ヘマンタ エラマス アルウェ ネヤ？

a=kor huci hemanta eramasu a ruwe ne ya?

なに す  
「おばあちゃんは何が好きだったの？」

アコロフチ アナクトペンペ エラマス アルウェ ウン。

a=kor huci anak topenpe eramasu a ruwe un.

あま す  
「おばあちゃんは甘いものが好きだったよ」

クポニタ、クコロフチ ウウェペケレ キワ エンヌレ。

ku=pon hi ta, ku=kor huci uwepeker ki wa en=nure.

ぼく こころ ぼく き  
「僕が子どもの頃、おばあちゃんがウウェペケレをして僕に聞かせてくれた」

## 【覚えよう～おじいさんやおばあさん～】

エカシ	ekasi	「おじいさん」
フチ	huci	「おばあさん」
アチャ	aca	「おじさん」
ウナラペ	unarpe	「おばさん」

### れんしゅう ○練習○

クポニタ、クコロフチ ウウエペケレ キワ エンヌレ。

ku=pon hi ta, ku=kor huci uwepeker ki wa en=nure.

私 小さい 時 に 私のおばあちゃん ウウエペケレ し て 私に 聞かせた  
「私が子どもの頃、おばあちゃんがウウエペケレをして私に聞かせてくれた」

「ウウエペケレ」の部分を、ほかの言葉に替えて言ってみよう。

「ユカラ」「カムイユカラ」「ウポポ」

ウウエペケレ uwepeker…人間やそのほか主人公の昔話。ふつうの話し方で言う。

カムイユカラ kamuy yukar…神様やそのほか主人公のお話。歌のようにメロディにのせて言う。

ユカラ yukar…やんちゃな子どもやそのほか主人公のお話。歌のようにメロディにのせて言う。

ウポポ upopo…多勢で、おもしろい歌いかたをする歌。

### ☆解説～ご先祖さまへのお供え～

8月になるとお墓参りをする人が多勢いますね。お墓参りをして、亡くなった人にきれいなお花や食べ物をお供えして楽しんでもらいます。

アイヌの暮らしでは、お墓に行かずに家の近くでお供えをする方が多かったようです。お花ではなく木で作ったイナウ（御幣状のもの）、お団子やお菓子やお酒、たばこ、亡くなった人が好きだったものをお供えします。

亡くなった人たちは「ポクナシリ」というところで暮らしているので、火の神様に「お供え物を届けてください」とお願いします。それから亡くなった人の名前を言って、自分の名前も言いながら「これをお供えします」といってお供えをします。食べ物はみんなちぎって地面にまきます。飲み物も地面にまきます。そうすると、食べ物のいのちが、亡くなった人のところに届くといわれています。

## 9月 がつ おいしいものがいっぱい

あき 秋になると、やま 山の幸、うみ 海の幸、おいしいものがいっぱいです。とく 特にサケはだいじ 大事な食べもので、いろいろ 色々な料理になります。

クイペルスイナ。

ku=ipe rusuy na.

「なか お腹がすいたよ」

タンチポロシトエヤン。

tan ciporsito e yan.

「このすじこ 筋子をまぶしただんご 団子を食べなさい」

ヒンナ。シノケラアンフミ。ナシネヲエネレヤン。

hinna. sino keraan humi. na sine p en=ere yan.

「ごちそうさま。とってもおいしい。もう一つちょうだい」

オピッタノエエヤッカピリカワ。

opittano e=e yakka pirka wa.

「ぜんぶ 全部食べてもいいんだよ」

カルシ アカラ クス エキムン パイエアン ロ。

karus a=kar kusu ekimun paye=an ro.

「やま 山にキノコをと 採りに行こう」



## 【覚えよう～さかなに関する言葉～】

シペ	sipe	「サケ」
カムイチェブ	kamuycep	「サケ」
イチャヌイ	icanuy	「マス」
エレクシ	erekus	「タラ」
アムシペ	amuspe	「カニ」



### れんしゅう ○練習○

タン チポロシト エ ヤン。

tan cipor sito e yan.

この 筋子まぶし団子 食べる しなさい

「この筋子をまぶした団子を食べなさい」

「筋子をまぶした団子」の部分<sup>①</sup>を他の食べ物に替えて言ってみよう。

「昆布だれ団子」 コンブシト kompusito

「焼き魚」 チマチェブ cimacep

「サケなんこつたたき」 チタタプ citatap

同じように、「筋子をまぶした団子」の部分<sup>①</sup>を飲み物に、エ（食べる）の部分<sup>②</sup>をク（飲む）に替えて言ってみよう。

（例 「タン ナム ワッカ ク ヤン」 この冷たい水飲みなさい）

シペ アコイキクス エウオンネパイェアンロ。

sipe a=koyki kusu ewonne paye=an ro.

サケ 私達 とる ために 川の方に 行く 私達 しよう

「川にサケをとりに行こう」

「サケ」の部分<sup>③</sup>を他の魚の名前<sup>④</sup>に変えて言ってみよう。



ふるどけい

♪うたってみよう(3)～おおきな古時計～♪

クコレカシ コロトケイ エイコシケウエリ ワ オンネ

ku=kor ekasi kor tokey eykos keweri wa onne

<sup>わたし</sup>私のおじいさんの<sup>とけい</sup>時計は、あまりにもの<sup>ふる</sup>っぽで古い。

タンコタン タ クシクオイタ イパンホクトケイ ネ

tan kotan ta ku=siko hi ta ip an=hok tokey ne

「この<sup>むら</sup>村でわしが<sup>う</sup>生まれた<sup>とき</sup>時に<sup>か</sup>買われた<sup>とけい</sup>時計だ」

セコリタコロ レキ ララパ コロ オトウワシア トケイ ネ

sekor itak kor reki rarapa kor otuwasi a tokey ne

と<sup>い</sup>言<sup>ひげ</sup>ってひげをなでながら<sup>じまん</sup>自慢した<sup>とけい</sup>時計です。

タネ アナクネ ネア トケイ ソモ モイモイケ

tane anakne nea tokey somo moy moyke

<sup>いま</sup>今は、その<sup>とけい</sup>時計は<sup>うご</sup>動きません。

(※) ワンパ エアシクネホツ チクタク チクタク

wanpa easiknehot ciktak ciktak

90<sup>ねん</sup>年 チクタク チクタク

エカシ トクセ トウラ チクタクチクタク

ekasi tokse tura ciktak ciktak

おじいさんの<sup>しんぞう</sup>心臓が<sup>うご</sup>動くのと<sup>いっしょ</sup>一緒に チクタク チクタク

タネ アナクネ ネア トケイ ソモ モイモイケ

tane anakne nea tokey somo moy moyke

<sup>いま</sup>今は、その<sup>とけい</sup>時計は<sup>うご</sup>動きません。



クコレカシ コロトケイ ネプネ ヤッカ エラマン

ku=kor ekasi kor tokey nep ne yakka eraman

わたしのおじいさんのとけいの時計は、何でも知っています。

ワンパ エアシクネホッ ランマ カネ クコレカシ シッカシマ

wanpa easiknehot ramma kane ku=kor ekasi sikkasma

90年、いつも私のおじいさんを見守ってきました。

ケトウシセメノコ エクヒ タカ

ketus se menoko ek hi ta ka

おんなの衣装入れを背負ったむすめ娘が来た時にも（=花嫁さんが来た時にも）、

チクタクセ モイモイケ

ciktakse moy moyke

チクタク音を立てていました。

タネ アナクネ ネア トケイ ソモ モイモイケ

tane anakne nea tokey somo moy moyke

いまは、そのとけい時計は動きません。

(※) くりかえし

\* 「大きな古時計」という題名で知られる「My Grandfather's Clock」(ヘンリー・グレイ・ワーク作詞作曲)に、アイヌ語をつけてみました。

\* アイヌ語の歌詞は、もとの英語の歌詞の直訳ではありません。

\* 歌詞に使われているアイヌ語は、旭川地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語訳：太田満)

がつ ふゆ く まえ  
10月 冬が来る前に

あき ふか ひ く はや こ そと あそ す おとな  
秋が深まって日の暮れるのが早くなっても、子どもたちは外で遊ぶのが好き。大人たち  
すこ はじ ふゆじたく こ い  
ちが少しずつ始める冬支度。アイヌ語で言ってみましょう。

クコロエカシ カシケプ ホククス アラパ。

ku=kor ekasi kaskep hok kusu arpa.

「おじいさんは“雪かき”を買いに行った」

クコロフチ 毛糸 サンケワ コンチ オシケ。

ku=kor huci 毛糸 sanke wa konci oske.

「おばあさんは毛糸を出して帽子を編む」

クコロハポ サツチェプ ポロンノ ホク。

ku=kor hapo satcep poronno hok.

「父さんは干し魚をたくさん買う」



ソイネアン マシノタン ロ。

soyne=an wa sinot=an ro.

「外に出て遊ぼう」

レラ ユプケ シリ ネクス、チセ オッタ アフパン。

rera yupke siri ne kusu, cise or ta ahup=an.

「風が強いから、家の中に入ろう」

## 【覚えよう～天気に関する言葉】

アプト	apto	「雨」
レラ	rera	「風」
ウパシ	upas	「雪」
カウカウ	kawkaw	「あられ」



### れんしゅう ○練習○

カシケブ クホク クス カラパ。

kaskep ku=hok kusu k=arpa.

雪かき 私 買う ために 私 行く

「私は雪かきを買いに行く」

「雪かき」の部分をも他の物に替えて「～を買いに行く」という文を作って言ってみよう。

レラ ユプケ シリ ネクス、チセ オッタ アフパン。

rera yupke siri ne kusu, cise or ta ahup=an.

風 強い 様子 である から 家 の方へ 入る 私達

「風が強いから、家の中に入ろう」

「風が強い」の部分をも「雨が降る」「雪が降る」「あられが降る」に替えて言ってみよう。

「雨が降る」 アプト アシ apto as

「雪が降る」 ウパシ アシ upas as

「あられが降る」 カウカウ アシ kawkaw as



がつ はり いと  
11月 針と糸をもって

てづく 手作りのものが身みの回まわりにある、手間てまと時間じかんをかけてつくったものを渡わたされる、少しすこ暖あたかな気分きぶんになります。アイヌ語こいで言いってみましょう。

クコロハポ アットウシミ。

ku=kor hapo attu mi.

「父とうさんはアットウシきを着る」

クコットト イカラカラ コロアン。

ku=kor totto ikarkar kor an.

「母かあさんは刺ししゅうきをしている」



タンペ エコロ アミツネワ。

tanpe e=kor amip ne wa.

「これは、お前まえの着物きものだよ」

クマチリペ カエカ コロアン。

ku=macirpe kaeka kor an.

「妹いもうとは糸いと作りつくをしている」

クユピ チシポ カラ コロアン。

ku=yupi cispo kar kor an.

「兄にいさんは針はり入れいを作つくっている。」



## 【覚えよう～針仕事の言葉～】

ケム	kem	「針」
カ	ka	「糸」
ヌイト	nuyto	「縫い糸」
イカラカラ	ikarkar	「刺しゅう」
チシポ	cispo	「針入れ」

### ○<sup>れんしゅう</sup>練習○

タンペ クコロ アミ ネ ワ。

tanpe ku=kor amip ne wa.

これ 私 持つ 着物 である よ

「これは 私の 着物 だよ」

「着物」の部分<sup>①</sup>を他の言葉に替えて言ってみよう。

「帽子」 コンチ konci

「はし」 イペパスイ ipepasuy

「おわん」 イタンキ itanki

「わたし (ク)」を、別な人に替えて言ってみよう。

「母さん」 クコットット ku=kor totto

「私の妹 (兄から見て)」 クマチリペ ku=macirpe

「私の妹 (姉から見て)」 クマタキ ku=mataki

「私の兄さん」 クユピ ku=yupi



♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの<sup>よる</sup>夜～♪

♪ ジングルベル ♪

ウパシ ポロ ヌソ アオワ  
upas poro nuso a=o wa  
すごいゆきだ ソリにのって

パイェアンロ ミナアン カネ  
paye=an ro mina=an kane  
でかけよう わらいながら

ヌソ エトコタ エトロ チャラケ  
nuso etoko ta etor carke  
ソリのまえで すずがちりん

アエケウトウムシノチタラ  
a=ekewtumsinocitara  
みんなのきもちもわくわくさ

ジングルベルジングルベル トウヌニタラ  
ジングルベルジングルベル tununitara  
ジングルベルジングルベル すずがなる

ヌソ アエシノッ コロ アエキロラン  
nuso a=esinot kor a=ekiroran  
ソリであそぶとめちゃたのし

ジングルベルジングルベル トウヌニタラ  
ジングルベルジングルベル tununitara  
ジングルベルジングルベル すずがなる

ヌソ アエシノッ コロ アエキロラン  
nuso a=esinot kor a=ekiroran  
ソリであそぶとめちゃたのし



## ♪ きよしこの夜<sup>よる</sup> ♪

シオイナ タヌ克蘭  
sioyna tan ukuran  
せいなる このよる

キヤイ ノチウ  
kiyay nociw  
かがやくほし

カムイポンテイネシ  
kamuy pon teynesi  
かみのおさなごは

コロハポ ウナソロ  
kor hapo upsoro  
ははのふところに

エモコロキナ アプニタラ  
emokor ki na apunitara  
ねむっている やすらかに

\* クリスマクソングの定番である「ジングルベル」と「きよしこの夜」にアイヌ語をつけてみました。

\* 歌詞に使われているアイヌ語は、幌別地方の言葉が中心となっています。

(アイヌ語訳：平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)

がつ きょう さむ  
12月 今日も寒いねえ

寒い日が続きます。風邪をひかないように注意しながら、アイヌ語の勉強を続けましょう。

ウパシアシルウェネ。クテケカナムフミ。クケマカナムフミ。

upas as ruwe ne. ku=teke ka nam humi. ku=kema ka nam humi.

「雪が降ったよ。手が冷たい。足も冷たい」

アペアリヤン。

apeari yan.

「火をつけなさい (たきなさい)」



エオムケカラヤ?

e=omkekar ya?

「風邪をひいたの?」

コムケカラルウェネワ。コムケカラカソモキワ。

k=omkekar ruwe ne wa. k=omkekar ka somo ki wa.

「風邪をひいているんだ」「いいや、ひいてないよ」

イカクシテプミワアラパ。

ikakustep mi wa arpa.

「上着を着て行きなさい」

【覚えよう～身体の具合に関する言葉～】

クサパアラカ	ku=sapa arka	「私の頭が痛い」
クホニアラカ	ku=honi arka	「私のお腹が痛い」
クイッケウエアラカ	ku=ikkewe arka	「私の腰が痛い」
クレクチアラカ	ku=rekuci arka	「私の喉が痛い」
オムケ	omke	「せき」
エシナ	esna	「くしゃみ」
エトロ	etor	「鼻水」

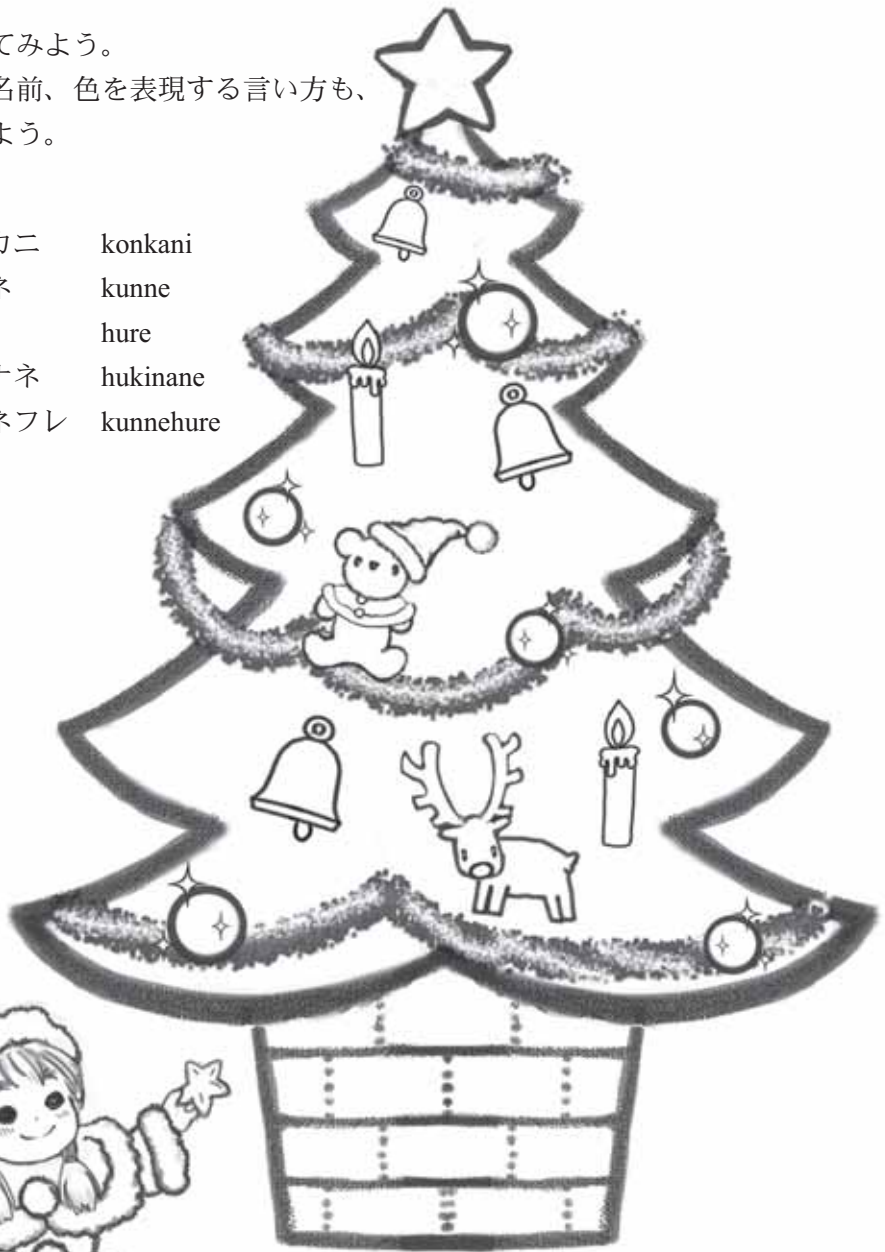


ぬりえ

好きな色をぬってみよう。

アイヌ語の色の名前、色を表現する言い方も、  
合わせておぼえよう。

きん	コンカニ	konkani
くろ	クンネ	kunne
あか	フレ	hure
みどり	フキナネ	hukinane
ちゃいろ	クンネフレ	kunnehure



ぎん	シロカニ	sirokani
しろ	レタラ	retar
あお	シウニン	siwnin
きいろ	ニカピロ	nikapiro
ピンク	ルフレ	ruhure

がつ まつ じゅん び  
1月 お祭りの準備

ふゆ まつ  
冬にはお祭りがたくさんあります。おとこ ひと じゅん び おんな ひと じゅん び  
男の人の準備、女の人の準備、どんなことをして  
いるのでしょうか。

アシリパアンナ。

asir pa an na.

あたら とし き  
「新しい年が来ました」

オッカヨウタライナウケ。

okkayo utar inawke.

おとこ ひと つく  
「男の人たちはイナウを作る」

メノコウタラトノトカラ。

menoko utar tonoto kar.

おんな ひと さけ し こ  
「女の人たちはお酒を仕込む」

ヌサ オッタ イテキ シノツ ヤン。

nusa or ta iteki sinot yan.

そば あそ  
「ヌサの側で遊んではいけません」

トアントウキウクワエンコレ。

toan tuki uk wa en=kore.

「そこにある酒杯を取ってください」

エンカスイヤン。

en=kasuy yan.

てつだ  
「手伝ってちょうだい」



## 【覚えよう～道具や料理の名前～】

マキリ	makiri	「小刀」
タシロ	tasiro	「山刀」
トゥキ	tuki	「酒杯」
チポイエブ	cipoyep	「あえもの料理」
オハウ	ohaw	「具のたくさん入った汁」

### ○<sup>れんしゅう</sup>練習○

イテキ シノツ ヤン。

iteki sinot yan.

するな 遊ぶ しなさい

「遊んではいけません」

「遊ぶ」の部分をおの言葉に替えて「～してはいけません」という文を作ってみよう。

「さわぐ」 ウコハウプニ ukohawpuni

「けんかする」 ウコイキ ukoyki

「なまける」 トランネ toranne

トアン トゥキ ウクワ エンコレ。

toan tuki uk wa en=kore.

そこにある 酒杯 取っ て 私に 下さい

「そこにある酒杯を取ってください」

「トゥキ（酒杯）」の部分をおの言葉に替えて「そこにある～を取ってください」という文を作ってみよう。

「なべ」 ス su

「おたま」 カスブ kasup

「おぜん」 オッチケ otcike

♪うたってみよう(5)～からだのうた  
(しずかなこはん)～♪

①サパ エトゥ シキ パロ  
sapa etu siki paro  
あたま はな め くち

キサラハ ナヌフ  
kisaraha nanuhu  
みみ かお

オトピヒ レクチ  
otopihī rekuci  
かみのけ のど

テケヘ ホニヒ  
tekehe honihi  
て おなか

コッカ ウレ  
kokka ure  
ひざ あし (あしくびからさき)

ケマハ オソロ  
kemaha osoro  
あし おしり  
(あしぜんぶ)

②ヤトゥポキ シットキヒ

yatupoki sittokihi

わきのした ひじ

アシケペチ アミヒ

askepeci amihi

ゆび つめ

テッコトロ コトロ

tekkotoro kotoro

てのひら むないた

パルンペ ニマキ

parunpe nimaki

した は

ラル ハンク

raru hanku

まゆげ おへそ

イッケウエ セトゥル

ikkewe seturu

こし せなか

\* 輪唱で有名な♪しずかな湖畔の森のかげから♪のメロディーを使って、身体名称を歌詞にした歌を作ってみました。

\* 歌詞に使われているアイヌ語は、主に千歳方言を使っています。

\* 身体のあちこちを指さしながら、楽しく歌いましょう。

(アイヌ語詞：北原次郎太)

がつ かんしゃ  
2月 カムイに感謝をする

アイヌの<sup>おお</sup>大きな<sup>まつ</sup>お祭りのひとつに、イオマンテという<sup>ぎょうじ</sup>行事があります。お<sup>ひと</sup>おぜいの人が<sup>あつ</sup>集まって、<sup>にんげん</sup>人間の<sup>せ かい</sup>世界にや<sup>き</sup>って来<sup>き どうぶつ</sup>た動物の<sup>かみ</sup>たましいを、<sup>せ かい</sup>神さまの<sup>おく かせ</sup>世界に送<sup>か</sup>り帰<sup>かえ</sup>します。

アペフチ。

apehuci.

<sup>ひ かみ</sup>  
「火の神さま」



カンナ チコタヌ コシネウエ ヤン。

kanna ci=kotanu kosinewe yan.

<sup>わたし</sup>「<sup>むら</sup>私たちの<sup>あそ</sup>村に<sup>き</sup>また遊<sup>あそ</sup>びに<sup>き</sup>来て<sup>き</sup>ください」

クユピ チロシ エアク。

ku=yupi ciros eak.

<sup>にい</sup>「<sup>はな や い</sup>お兄<sup>い</sup>ちゃん<sup>い</sup>は<sup>い</sup>花<sup>い</sup>矢<sup>い</sup>を<sup>い</sup>射<sup>い</sup>た」

ウナラペ ウタラ ヘペレセツ オカリ ホリッパ。

unarpe utar heperset okari horippa.

<sup>おり</sup>「<sup>まわ</sup>おば<sup>まわ</sup>さん<sup>まわ</sup>たちが<sup>おど</sup>檻<sup>おど</sup>の<sup>おど</sup>周<sup>おど</sup>りを<sup>おど</sup>回<sup>おど</sup>り<sup>おど</sup>ながら<sup>おど</sup>踊<sup>おど</sup>る」

ウ克蘭、アンノシキ パクノ クモコロ カ エアイカプ。

ukuran, an noski pakno ku=mokor ka eaykap.

<sup>わたし</sup>「<sup>よる</sup>私<sup>おそ</sup>は<sup>ねむ</sup>きの<sup>ねむ</sup>う、<sup>ねむ</sup>夜<sup>ねむ</sup>遅<sup>ねむ</sup>く<sup>ねむ</sup>まで<sup>ねむ</sup>眠<sup>ねむ</sup>れ<sup>ねむ</sup>な<sup>ねむ</sup>か<sup>ねむ</sup>つ<sup>ねむ</sup>た」



## 【覚えよう～お祭りに使う言葉～】

ヤイライケ	yayrayke	「感謝する」
ヌサ	nusa	「戸外の祭壇」
ロルンプヤラ	rorunpuyar	「上座の窓」

### れんしゅう ○練習○

クモコロ カ エアイカッ。

ku=mokor ka eaykap.

私 眠る も 出来ない

「私は眠れなかった」

「眠る」の部分をお祭りの言葉に替えて「私は～出来なかった」という文を作ってみよう。

「私は勉強する」 クヤイパカシヌ ku=yaypakasnu

「私は遊ぶ」 クシノッ ku=sinot

「私は料理する」 クスケ ku=suke



### ☆解説～神さまを送るお祭り～

アイヌの考え方では動物はみな神さまで、人間の世界では動物のかっこうをしています。神の住む世界では人間と同じように暮らしているのだといいます。

人間は、動物のかっこうをして人間の世界に遊びに来た神さまのたましいを神の住む世界に送り帰すために、いろいろな儀式を行います。

生まれて間もない子グマを育てて、一定の時期が来たらそのたましいを送り帰す儀式、祭りを一般的にイオマンテといいます。

火の神をはじめさまざまの神々の力を借りて、子グマのたましいが無事に神の国に戻れるようにお祈りをします。子グマには、たくさんのみやげを持たせて、また人間の世界に遊びに来てください、とお願いします。男の人たちは飾りのついた矢（一般に「花矢」といいます）で子グマを射て、その周りを女の人たちが輪になって踊ります。この祭りは、アイヌの儀式の中でも盛大に行われるものの一つで、何日もの間夜遅くまで続きます。

子グマのたましいは、無事に神の世界に戻ったら、たくさんのみやげにかこまれながら、人間のもとをまたいつか訪ねようとするのだそうです。

## 3月 子グマを授かる

寒さがゆるんでヒグマが冬眠から目覚める頃に山猫をすと、母グマと一緒に生まれ  
たばかりの子グマを捕獲することがあります。このことは、アイヌの暮らしの中では神  
さまから子グマの飼育を任されたと受け止められ、たいへん名誉なことだと考えられて  
きました。

クコロハボ、フナクンエアラパヤ?

ku=kor hapo, hunak un e=arpa ya?

「お父さん、どこに行くの?」

クイラマンテクス エキムンカラパ。

ku=iramante kusu ekimun k=arpa.

「山に獵に行くんだ」

カニカカラパルスイナ。

kani ka k=arpa rusuy wa.

「私も行きたいなあ」

ナエポンクステレワアン。

na e=pon kusu tere wa an.

「おまえはまだ小さいから待っていなさい」

コナハポンヘペレトゥプセワサン。

k=onaha pon heper tu p se wa san.

「お父さんが2匹の子グマを連れて帰ってきた」

ヘペレソンノピリカ。

heper sonno pirka.

「子グマはとてかわいい」



## 【覚えよう～子グマと「小さな」の言い方～】

ヘペレ	heper	「子グマ」
ポン	pon	「小さい」
ポンセタ	pon seta	「小犬」
ポンチカプ	pon cikap	「小鳥」
ポンチェッポ	pon ceppo	「小さい魚」

### ○<sup>れんしゅう</sup>練習○

カニ カ カラパ ルスイ ナ。

kani ka k=arpa rusuy na.

私 も 私 行く したい よ

「私も行きたいよ」

「行く」の部分<sup>を</sup>他の言葉に替えて「私も～したい」という文を作ってみよう。

「甘いものを食べる」 トペンペケ topenpe k=e

「遊びに行く」 ク シネウエ ku=sinewe

☆これまで学んできた文の中に、「ク(ku=)」と「エ(e=)」という言葉がいくつも出てきます。「ク(ku=)」は、日本語で「私は(私が)」、「エ(e=)」は「君は(君が)」という意味です。

☆アイヌ語では、「食べる」「飲む」「遊ぶ」など、自分が何かをする場合には、「～する」という意味のアイヌ語の前に、必ず「ク(ku=)」という言葉を付けます。

例えば、「私は外で遊んだ後にお菓子を食べて、それから水を飲んで寝た」という文をアイヌ語にしようとする<sup>と</sup>、「遊んだ」、「食べて」、「飲んで」、「寝た」の4つをアイヌ語にしてから、4つ全部に必ず忘れずにク(ku=)を付けます。これはアイヌ語の大事な決まりごとのひとつです。

詳しいことは『初級編』で、また勉強しましょう。



## ☆ 12ヵ月の月のなまえ ☆

月のなまえもアイヌ語で言うことができます。

ただ、地域によって呼び方がいろいろあるのでいくつか紹介します。

1月	(沙) トウェタンネ (旭) イノミチュブ (十) チウルブ	towetanne inomicup	「1月日が長くなる」 「神に祈る月」
2月	(沙) クウェカイ (旭) タシクルチュブ (十) トイタンネ	kuwekay taskurcup	「雪で仕掛け弓に使う台が壊れる」 「しばれる月」
3月	(沙) キウタチュブ (旭) トエタンネ (十) ハプラブ	kiwtacup toetanne	「ユキザサ」 「日が長くなる？」
4月	(沙) モチュブ (旭) ウパシルレチュブ (十) キウタチブ	mocup upasrurcup	「達者で静かに暮らしているから」 「雪を溶かす月」
5月	(沙) シンチチュブ (旭) ムントウツカチュブ (十) シキウタチブ	sincicup muntukkacup	「これからあたたかくなる」 「草を伸ばす月」
6月	(沙) マウタチュブ (旭) トイタチュブ (十) モマウタチブ	mawtacup toytacup	「ハマナスを植える月」 「土を掘る月」
7月	(沙) マウチチュブ (旭) クンネヤシチュブ (十) シマウタチブ	mawcicup kunneyascup	「ハマナスが熟す月」 「夜に流網漁する月」
8月	(沙) ハプラブ (旭) クンネスシチュブ (十) モニヨラク	haprap kunnesuscup	「木の葉が落ちそうにたれさがる月」 「夜に水浴する月」
9月	(沙) ニホラク (旭) ヤシチュブ (十) シニヨラク	nihorak yascup	「草や木の葉がおちる月」 「流網漁する月」
10月	(沙) ウレポク (旭) コンニランチュブ (十) ウレポク	urepok konnirancup	「足の裏で霜柱がパラパラ鳴るから」 「フキの茎が枯落ちる月」
11月	(沙) ルウェカリチュブ (旭) ニーテ克蘭ケチュブ (十) シネアンチブ	ruwekaricup nitekrankecup	「鹿を追って先回りする月」 「木の枝が枯落ちる月」
12月	(沙) チュルブ (旭) ウパシランケチュブ (十) クイカイ	curup upasrankecup	「雪煙が立つ月」 「雪が枯落ちる月」

(沙) 沙流 (旭) 旭川 (十) 十勝

※十勝の月名は吉田巖さんの本に書かれていたものです。古い時代の本なので今とは書き方が違いますが、参考として収録しておきました。

※沙流の月名は田村すず子さんの『アイヌ語沙流方言辞典』を参考にしています。これは旧暦に基づいた月名です。

■クロスワードの正解

		コ		サ	ク
エ	ト	ロ		ッ	
カ		コ	ン	チ	
シ		ニ		エ	
	マ		ア	プ	ト
オ	タ		ハ		

## ちとせのアイヌご

---

発行年月 2011年3月

発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構  
〒060-0001  
北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7  
TEL (011)271-4171 FAX (011)271-4181  
URL <http://www.frpac.or.jp> E-mail: [ainu@frpac.or.jp](mailto:ainu@frpac.or.jp)

---